

簡易取扱説明書

他府県では別途説明書を配布されている場合がありますのでそちらをご覧ください。



■使い方

①電源を ON にします。

- ・電源ボタンをピッと音がするまで押します（少し長めに）。

②測定しましょう。

- ・電源 ON から 35 秒経つと測定値を表示するようになりますが、正確な測定のためには 60 秒以上経ってから表示される値を読んでください。
- ・表示は 10 秒ごとに更新されます。
- ・測定値が 9.999 ($\mu\text{Sv/h}$) 以上になると 9.999 で点滅します。
- ・身の回りにあるものを測定するときは検出器位置を示す+マークを対象物の上に来るようにして近づけて測定してください。
- ・計数音ボタンを押すと放射線を 1 つ検出するごとにピッと鳴ります。もう一度押すと元にもどります。

③電源を切ります。

- ・電源ボタンを押すと表示が消えて電源が切れます。
- ・ボタン操作しないで 3 時間経つと自動的に電源が切れます。

●注意

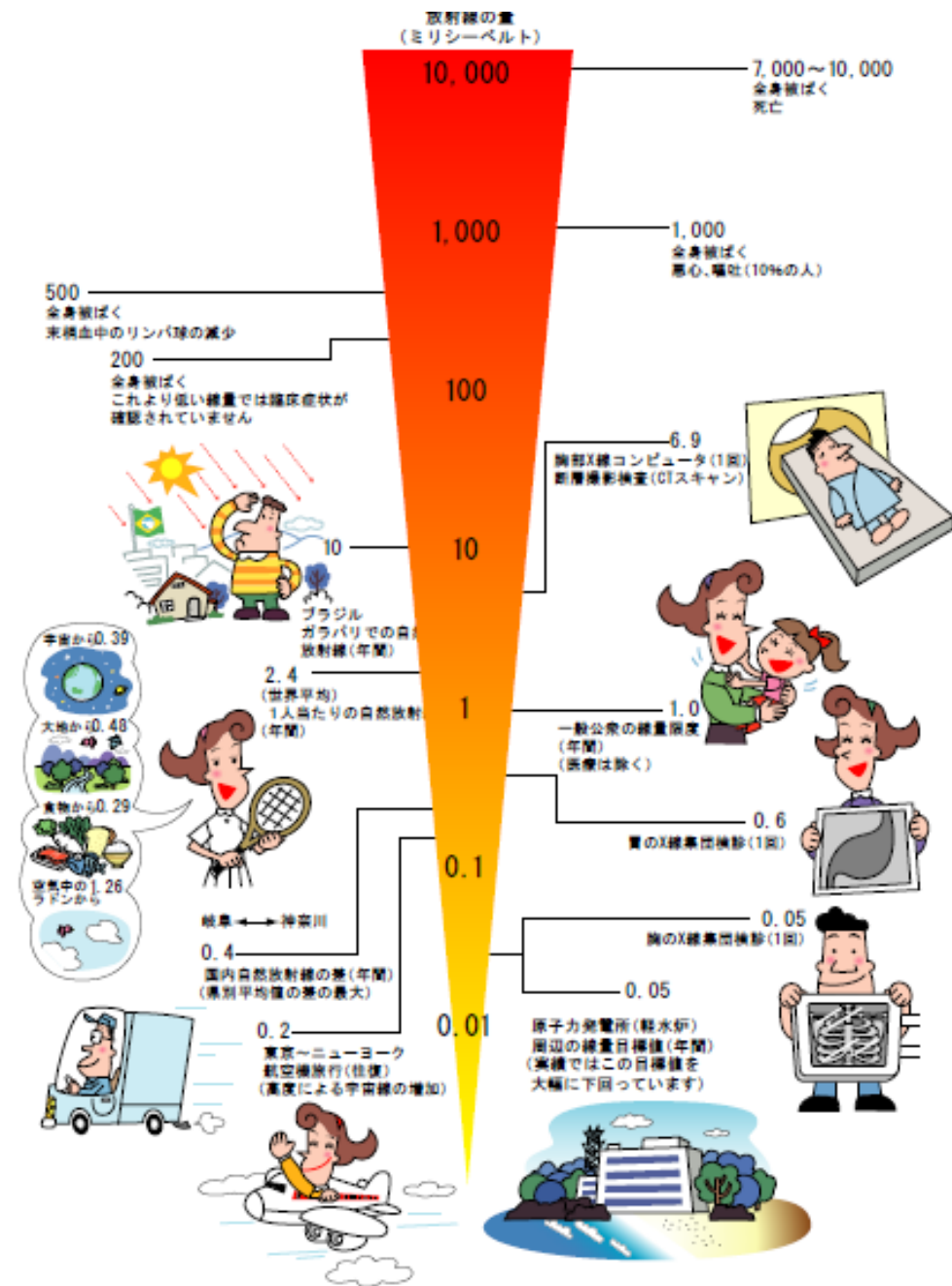
本体に放射性物質が付着しないようにビニール袋に入れ、測定の際は直接土砂などに触れないようにし、本体の汚染を防止してください。

●測定場所

- ・最初に玄関先など線量の低い場所で測定し記録します。
(バックグラウンドの計測)
- ・土砂や落葉が堆積した排水溝や側溝、雨樋、雨樋の直下、苔、道路脇で雨水により土砂などが堆積している箇所などは放射性物質が溜まりやすいです。

●測定方法

- ・空間放射線は 1m を基本としてますが、対象物の表面を測定する場合は 5 cm 程度離して測定します。
- ・60 秒以上同じ場所で動かさずに測定します。指示値がある程度落ち着いた段階で指示値を記録します。指示値が振れている場合は平均値を記録します。



表示値の意味

表示されるのは、ガンマ線の線量当量率という値です。

単位は $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)です。人体への影響を考慮した放射線の量を表します。

参考 HP

- 『生活空間における放射線量低減化対策に係る手引き』
(福島県災害対策本部) 平成 23 年 7 月 15 日
<http://www.pref.fukushima.jp/j/tebiki0715.pdf>
- 『福島県内の学校の校舎・校庭等の線量低減について (通知)』
(文部科学省) 平成 23 年 8 月 26 日

http://radioactivity.mext.go.jp/ja/8849/8850/8864/1000_082614_1.pdf

お客様窓口

堀場製作所カスタマーサポートセンター
フリーダイヤル：0120-37-6045